

<行事等について>

- ・11月2日(木)…秋の遠足です。お弁当の準備等お願いします。詳細は手紙をご確認ください。
- ・11月8日(水)…さくらい歯科クリニックの櫻井先生による歯科検診があります。
- ・11月18日(土)…ひよこぐみ、ちゅうりっぷぐみ、たんぼぼぐみの保育参観日を予定しています。
すみれぐみ・ひまわりぐみ・ゆりぐみは通常保育となります。詳細決定後に手紙を配布します。
- ・11月21日(火)…消防士、消防車が来園し、避難訓練を行います。

この時期は朝夕の冷え込みが強くなり、厚着をしてしまいがちですが子どもの体温は大人よりも高く、日中は活動していると暑くなってしまいうことも多いです。登園時には裏起毛や厚手の衣服でなく羽織る上着を着用し、園内では薄着で過ごしていけるよう調節をお願いします。



<薄着の良いところ>

- ① 体温調節機能が育ちます…厚着をしていると気温の変化を直接、肌で気づきにくくなります。暑さや寒さを感じることで気温への防御反応が高まります。
- ② 風邪をひきにくくなります…薄着だと外気温の変化をとらえる皮膚感覚や自律神経が鍛えられ免疫力が強くなります。
- ③ 体の動きを活発にする…薄着なことで体を動かしやすく、遊びや活動に活発に参加しやすいです。
厚着だと動きにくくなってしまいうこともあります。また、肌着を着る、子どもが自分で着脱しやすい素材や形の衣服がいいです。

※個人差や健康状態もありますので子どもの様子に合わせることも大切です。

<読書の秋>

一回目の読書週間は1947年に行われ、毎年10月27日から11月9日までの2週間です。なぜ読書の秋と言われるようになったかという秋になると日が落ちるのが早く、夜が長いことから集中して本を読む時間が長くなるため、読書の秋と呼ばれるようになったそうです。また、その起源は中国の詩人の詩からきています。

少しの時間でも大好きなお父さんやお母さんに絵本を読んでもらうことは心に残ります。読み聞かせの良い点として下記のようなことがあります。

- ☆大人(親や保育士)と子どもの親密な人間関係の基礎になる「愛着関係の形成」や一緒に絵本を通して思いを共有、共感することで子どもの安心できる時間になる。
- ☆大人が自分のために読んでくれているという「幸福感」を満喫できたり、読み手も緊張や不安の抑制になったりとリラックス効果がある。
- ☆子どもの好奇心のきっかけ作り、友達との関わり作り、優しさ、悲しさ、色や物の美しさ、言葉のおもしろさなどに気づくことができる。
- ☆イメージや創造力が膨らむ。



運動会のアンケートへのご協力ありがとうございました

アンケート記載のご意見をお知らせいたします。来年度の参考とさせていただきます。



- 仲間や友だちと一緒に参加する姿や競技が良かった。また昨年とは違った姿や成長した姿を観ることができた。
- 緊張する子どもへの先生のサポートは気持ちに寄り添いながら良かった。また、先生と子どもとの信頼関係が作られている。
- ゆりぐみ、ひまわりぐみの合同開催や人数制限なしで観覧場所に不安があったが問題なかった。また、コロナ前のように道路から観覧する保護者もおらず気持ち良かった。
- くじ引きで時間と順番があるから焦らず待つことができた。待機場所が園舎裏だったが駐車場にも保護者がいたのでもう少し待機場所が整備されると良かった。
- 我が子を観るという視点で考えれば各学年だけでの開催でも十分とも思う。